

一般社団法人 日本衛生材料工業連合会

平成 27 年度 事業活動報告

平成 27 年度の事業計画基本方針に基づき下記の活動を実施した。

I、委員会活動の部

1、広報委員会

1) 日衛連ニュースの発行 (年 3 回)

- ・ 80 号 (11 月発刊) ⇒ マスク工 おおたわ史絵先生に聞く
「マスクで風邪・インフルエンザの季節に」
- ・ 81 号 (3 月発刊) ⇒ 耳掃除の事故注意と綿棒自主基準による品質確保
[予算] 150 万円 (取材費 20 万円+制作費 30 万円) ×3
[実績] 94 万円 (2 号の発刊)

2) 記者会見

- ・ 平成 27 年 6 月 総会 定例記者会見
平成 27 年度日衛連の事業計画について
日衛連競争法コンプライアンス規程の制定について
ISO/TC224/WG10(水に流せる製品の技術仕様書検討)の状況報告
- ・ 平成 28 年 1 月 賀詞交歓会 定例記者会見
生産動態統計調査「紙おむつ月報」の開始
吸水性ポリマーの抗菌試験法の完成
「おむつ用不織布の安全・衛生自主基準」を制定
全国マスク工業会、WEB プロモーションを実施
ISO/TC224/WG10 (水に流せる製品の技術仕様書検討) の状況報告
[予算] 15 万円 [実績] 12 万円

3) 日衛連ホームページの原稿作成とアップデート

- ・ ホームページ統計資料、紙おむつ Q & A (環境・リサイクル)、除菌自主基準の改定 (試験法の追加記述) などをアップデート
- ・ 「医薬品医療機器法」施行に伴う厚生労働省の関連施行令、告示、省令、事務連絡を会員専用ページに掲載し周知を図った。
- ・ その他行政の連絡文書を積極的に掲載した。
[予算] 40 万円 [実績] 15 万円

4) 日衛連ホームページのアップロードシステム対応

- 上記 1)、2)、3) 項のアップロード費用
[予算] 10 万円 [実績] 13 万円

- 5) 会議費 [予算] 5万円 [実績] 0
6) 平成27年度広報委員会 [予算] 220万円 [実績] 134万円

2、法制委員会

1) 医薬品医療機器法関連分科会

① 医機連委員会への出席

上部団体である医機連の関連下記委員会に出席し、施行された「医薬品医療機器法」（薬事法の改正名称）関連情報を収集し対応を図った。

関連施行令、告示、省令、事務連絡を全衛工、全救工を中心に情報提供、解釈などの情報交換を実施した。（全衛工臨時総会 平成27年9月16日、全救工 平成27年7月14日）

② 平成27年度医機連委員会出席委員

- 法制委員会 :平丸恵三委員（イワツキ）
 - PMS委員会 :一橋俊司委員（ハクゾウメディカル）
 - ・法改正対応添付文書WG 一橋俊司委員（ハクゾウメディカル）
 - ・不具合報告の手引き改訂WG 徳村文男委員（ニチバン）
 - QMS委員会
 - ・滅菌バリデーションWG 原澤勝也委員（白十字）
- [予算] 190万円（医機連会費170万円、会議費、交通費補助20万円）
[実績] 199万円

2) 家庭用品関連分科会

① 流通システム標準普及推進協議会（流通BMS協議会）

現状は大きな動きが無く、引き続き情報収集に努めた。

② 消費者庁、国民生活センター、公正取引委員会などを中心に、消費者行政の情報収集を図った。

消費者庁の不織布水解性検討状況については、日本清浄紙綿類工業会と連動し、平成27年6月18日、消費者庁を訪問し経過報告を実施した。

改正景品表示法について、委員会委員の情報共有を図った。

[予算] 5万円（会議費） [実績] 1万円

3) UDI分科会

医機連の同委員会と連動し、標準バーコード付与の推進、フォローを実施した。

- ① 医療機器における情報化推進状況調査への対応
- ② EDI化の推進
- ③ 医機連UDI委員会への出席
- ④ 医機連の標準バーコード自主基準の改定に関連して、医療機関に納める雑品に対して負担とならないよう要請した。
 - 平成27年度医機連UDI委員会出席委員

- ・ U D I 委員会 :大崎将男委員 (オオサキメディカル)
- ・ U D I 委員会 運用分科会 : 武田由美子委員 (オオサキメディカル)
- ・ U D I 委員会 マニュアル改訂WG : 小坂明宏委員 (白十字)

[予算] 25 万円 (会議費 5 万円、交通費補助 20 万円)

[実績] 27 万円

4) 平成 27 年度法制委員会 [予算] 220 万円 [実績] 226 万円

3、環境委員会

1) プラスチック容器包装リサイクル推進協議会が主導する 3R 自主行動計画紙おむつ製造業主要 9 社の協力を得て、平成 26 年度の削減実績を調査するとともに、自主行動計画を継続して推進した。(薄肉化目標 13% : 平成 16 年度比) 平成 25 年の 0.67 g /枚から平成 26 年は 0.64 g /枚に改善。

[予算] 46 万円 (プラ推進協年会費 40 万円、集計委託費 6 万円)

[実績] 44 万円

2) 環境政策、廃棄物処理・リサイクル技術に関する調査

① 大木町 (福岡県三潞郡) が、家庭から排出される紙おむつ分別収集リサイクルを開始したことから、大木町を訪問し、担当者と情報交換を実施、同町のおおき循環センター、大牟田のトータルケア・システム (水溶化処理施設) を見学した。同分別収集リサイクルは、平成 27 年 10 月から、大木町隣接のみやま市においても開始された。

② 包装の環境配慮設計に関するセミナーを開催し、情報共有を実施した。

③ 各業界ともプラ使用量の削減はほぼ横ばい状況にあり、事業者の新たな取り組みを促すため、プラ推協では「プラスチック容器包装の環境配慮に関する自主設計指針案」を策定した。

連合会においても、業界のニーズに合った容器包装自主設計指針案を策定するためのワーキンググループを立ち上げ検討を開始した。

[予算] 34 万円 (情報収集費、交通費) [実績] 27 万円

3) 日衛連環境政策に関する広報関連活動

紙おむつの Q & A (HP 掲載) のリサイクルに関連する記述のアップデートを実施した。(紙製工と連動)

4) 会議費

環境配慮設計セミナー 平成 27 年 7 月 23 日開催

環境委員会 平成 27 年 11 月 5 日開催

容器包装自主設計指針作成WG 平成 28 年 1 月 29 日、3 月 28 日 開催

[予算] 10 万円 [実績] 17 万円

5) 平成 27 年度環境委員会 [予算] 90 万円 [実績] 72 万円

4、技術委員会

1) 安全性分科会

(1) 国際標準化活動

経済産業省の国際標準化支援事業(平成 25 年度～平成 27 年度)に基づき実施した日本提案は、DIS 投票が実施され、標準トラックである 3 年間を要したが改定が成立する見込み。

① ISO 15621「尿吸収用具—評価に関する一般的指針」の改定

平成 27 年 2 月 25 日開催の国際会議で DIS 投票手続きに入る合意がされ、DIS の仏文への翻訳作業が終了する 4 月中旬には DIS 投票に移り、7 月には投票結果が判明するが、賛成多数で改定は平成 28 年中に交付される見込み。

② ISO 19331「大人用紙おむつのドールを使用した尿吸収量測定法 (Test method for the determination of the absorption before leakage using an adult mannequin)」

E U 各国共同提案の同試験法について、最終検討がジュネーブの国際会議 (10 月 15 日開催) で行われたが、実証テストの結果が不十分であり、平成 27 年 11 月末の DIS 登録期限までの課題解決は難しいと判断し、36 か月の標準型企画開発トラックを 48 か月の延長型トラックに変更申請することで合意し、現在欧州各国の試験機関にて、再度のラウンドロビンテストを開始している。

平成 28 年 11 月末の最終期限までに、DIS 登録が可能か微妙な状況となっている。

(2) SAP 関連安全性と G S P C S 会議への参加

① SAP 微粉塵測定を継続実施した (紙おむつ 7 工場、年 1 回)。

② GSPCS 会議 (平成 27 年 5 月、上海) に出席し、SAP 安全性動向収集と安全性指針の協議をし、SAP の安全性指針のアップデートを実施した。今年度は中国造紙協会生活用紙企業委員会の参加を得た。中国の別組織が、TC61 (プラスチック) に SAP の血液吸収性能規格や試験法に関して、規格提案をしており、中国における ISO の対応組織が、必ずしも国家標準化管理委員会と整合していないことが判明、今後の課題となっている。

③ なお、ISO/TC61 (プラスチックの委員会) の国際会議 (インド開催) に、(株) 日本触媒の委員が S A P 工業会を代表して出席、対応に当たっている。

(* 大人用紙おむつの SAP は、排泄関連機器として TC174)

(3) 全国造紙工業標準化技術委員会年次大会参加について

第 2 回日中衛生企業交流会を実施した全国造紙協会生活用紙企業委員会と同じ中軽集団に属する全国造紙工業標準化技術委員会の年次大会 (平成 27 年 11 月 24 日～26 日 : 貴州省貴陽) の分科会 (生理処理用品、紙おむつ、SAP) に日衛連として出席参加し、情報交換を実施した。

連合会技術委員会から宮澤技術委員会副委員長、河崎委員 (花王)、倉田委員

(ユニ・チャーム)、藤田専務理事(日衛連)、アジア吸水性樹脂工業会(ASPIA)から三宅技術委員長他6名の計10名が参加した。

中国政府の一人っ子政策の中止に端を発して、上層部より乳幼児用品の安全、品質管理強化を図るよう指示が出ており、平成28年より同委員会においても、下記のGB(国家標準)の改定を実施する計画が明らかにされた。

- ・SAPの規格改定(GB/T22875-2008 GB/T22905-2008)
- ・紙おむつの規格改定(GB/T28004-2011 基準の名称を「乳幼児用紙おむつ(シート、パッド)」とし成人の紙おむつ製品は別途基準を制定する)

今後の改定に関しては、工業会の各会員企業の現地法人と密な連携を図り、対応することとした。

(4) その他(工業会との連携活動)

- ① 日本不織布協会(ANNA)との密な情報交換の実施。

同協会にておむつ用不織布の安全・衛生自主基準を制定いただき、HPに公開いただきました。(日衛連HPのQ&Aと連動)

- ② ISO/TC224/WG10 流せる不織布製品の規格検討の情報収集、サポート業務を実施。
[予算] 220万円(出張費80万円、出張費補助60万円、翻訳・会議諸費用80万円)
[実績] 176万円

2) 抗菌自主基準分科会

- ① 連合会の抗菌マークの推進とフォロー活動を継続して実施した。平成26年度対象となった製品以外のアイテムを選定し、試験データの提出を求めたが、問題はなかった。
- ② 紙製工がSAP工業会と共同開発したSAP抗菌試験法と抗菌基準の完成に伴い、日衛連抗菌自主基準の一部改定を行う。(平成28年4月改定を予定)

3) 平成27年度 技術委員会 [予算] 220万円 [実績] 176万円

5、財務委員会

平成28年2月17日開催

平成27年度予算執行状況の監査並びに平成28年度予算(案)の検討

[予算] 5万円(会議費) [実績] 2万円

6、総務委員会

平成27年4月23日、11月18日開催

日衛連コンプライアンス規程の検討

平成27年度日衛連表彰の審議、提案

[予算] 5万円(会議費) [実績] 3万円

II、工業会活動の部

1、全国衛生材料工業会

- ① 医薬品医療機器法の施行に関連した情報の共有
- ② 医療機器などの商品コード、添付文書などの周知活動
- ③ 不具合用語集（全衛工版）の検討
- ④ 綿棒安全衛生自主基準の遵守、自主統計の継続

セミナーの実施 東京医科歯科大学 医学部附属病院 久保田英雄助教
(テーマ：滅菌管理と物品管理業務、トピックス)

[公益事業費予算] 103 万円 [実績] 27 万円

[一般事業費予算] 181 万円 [実績] 133 万円

2、全国紙製衛生材料工業会

- ① 全国造紙工業標準化委員会 年次総会（貴州省貴陽）出席
- ② 紙おむつ用不織布の安全・衛生自主基準の制定（不織布協会に要請）
- ③ 尿吸収時の SAP 抗菌試験法・基準の制定（SAP 工業会と協同）
- ④ SAP 微粉塵測定とデータ収集活動の継続
- ⑤ プラ容器包装リサイクル、3 R 自主行動計画の推進
- ⑥ 生理処理用品の承認基準の改正に対応した質疑応答集（Q&A）の作成
- ⑦ タンポンの TSS の啓発活動

[公益事業費予算] 762 万円 [実績] 603 万円

[一般事業費予算] 176 万円 [実績] 42 万円

3、全国救急絆創膏工業会

- ① 救急絆創膏表示ガイドラインの制定
- ② バーコード表示、不具合用語の統一などの遵守活動
- ③ 医薬品医療機器法説明会の実施

[公益事業費予算] 18 万円 [実績] 1 万円

[一般事業費予算] 49 万円 [実績] 43 万円

4、日本清浄紙綿類工業会

- ① 水解性テスト方法などの研究
- ② ISO/TC224/WG10 の対応(国際会議 2 回出席)
- ③ 除菌マークの普及促進と除菌表示製品のフォロー
- ④ WWマーク制度の維持、強化
- ⑤ 「乳幼児用のおしりふきの技術指針と表示の Q & A」の改定

[公益事業費予算] 335 万円 [実績] 412 万円

*81万円の補助を得て、実質4万円の内輪。

[一般事業費予算] 85万円 [実績] 28万円

5、全国マスク工業会

- ① 会員マークの表示促進並びに運用基準に基づく表示内容の遵守活動
- ② マイナビウーマンを活用したキャンペーンの実施
- ③ 微粒子（PM2.5、黄砂）のマスクフィルタ部の捕集効率測定方法の研究
- ④ 繊維製品の抗ウイルス試験方法のマスク製品への導入の検討
- ⑤ 表示調査会、広報委員会、技術委員会との連携活動

[公益事業費予算] 593万円 [実績] 398万円

[一般事業費予算] 50万円 [実績] 25万円

Ⅲ、一般事業の部

1、理事会

1) 第1回理事会（平成27年5月29日）

平成26年度事業報告(案)ならびに平成26年度決算書(案)の承認、

平成27年度、28年度次期2年間の理事・監事の選任について

役職人事について

正会員新規入会について

平成28年度予算策定にむけて一般管理費を中心とした縮減計画(案)

「日衛連コンプライアンス規程」の制定について

2) 臨時理事会（平成27年6月19日）

役職理事の選任を求める件

3) 第2回理事会（平成27年10月21日）

事務局役職理事の募集について

マイナンバー制度の「日衛連関連規程」の制定について

賛助会員新規入会について

法制委員会 副委員長選任について

平成27年度事業中間報告

4) 第3回理事会（平成27年12月16日）

平成27年度日衛連表彰、被表彰者の承認

平成27年度事業中間報告

5) 第4回理事会（平成28年3月9日）

平成28年度事業計画(案)ならびに平成28年度収支予算(案)の承認

正会員新規入会について

2、総会

1) 第72回通常総会 (平成27年6月19日) 会場:経団連会館

平成26年度事業活動報告(案)並びに平成27年度決算書(案)の承認
平成27年度、28年度次期2年間の理事・監事の選任について
「日衛連コンプライアンス規程」の制定について

・講演会の開催

演題 「安倍政権の行方」

講師 与良正男氏 (毎日新聞論説委員)

2) 第73回通常総会 (平成28年3月24日)

会場:ANAクラウンプラザホテル神戸

平成28年度事業計画(案)並びに平成28年度収支予算(案)の承認

3、正会員・賛助会員懇親会 (平成27年10月21日) 会場:離宮飯店

参加者 正会員 20名

賛助会員 14社19名

4、平成28年賀詞交歓会 (平成28年1月21日) 会場:経団連会館

平成27年度日衛連表彰式

会長賞 1名、活動奨励賞 1名、

特別功労賞 4社11名、功労賞 7社39名を表彰

・講演会の開催

演題 「変化の時代とヘルスケアの将来像」

講師 御立尚資氏(ボストンコンサルティンググループ・シニア
パートナー&マネージングディレクター、BCGフェロー)

以上